

ピエル・パオロ・パゾリーニ

Pier Paolo Pasolini

生年月日 1922/03/05

出身地 イタリア／ボローニャ

没年 1975/11/02

【バイオグラフィ】

■詩人としてスタートし、第二次大戦中は教師などを務める。戦後は文筆活動に励み、小説“生命ある若者”がコロンビイ=クイドッティ賞を受賞。フェリーニの「カビリアの夜」の脚本に参加した後、61年に「乞食」で監督デビュー。「アポロンの地獄」、「テオレマ」、「豚小屋」、「アラビアン・ナイト」、「ピエル・パオロ・パゾリーニ／ソドムの市」など強烈な描写を含む問題作を連発した。「ピエル・パオロ・パゾリーニ／ソドムの市」を撮った直後、その作品にエキストラで出演していた17歳の少年に撲殺される。パゾリーニにはホモ・セクシュアルの性癖があったため、この死は物議を醸し出した。

【フィルモグラフィ】

王女メディアの島 (2017)	出演
マリア・カラスの真実 (2007)	出演
エロスを弾く女 (1995)	原案
ピエル・パオロ・パゾリーニ／ソドムの市 (1975)	監督, 脚本
アラビアンナイト (1974)	監督, 脚本
エロスの詩 (1973)	脚本
カンタベリー物語 (1971)	監督, 脚本
デカメロン (1970)	脚本, 監督
豚小屋 (1969)	監督, 脚本
王女メディア (1969)	監督, 脚本
愛と怒り (1969)	監督
テオレマ (1968)	脚本, 監督
アポロンの地獄 (1967)	監督, 脚本
殺して祈れ (1967)	出演
華やかな魔女たち (1967)	監督, 脚本
大きな鳥と小さな鳥 (1966)	脚本, 監督, 原案
愛の集会 (1964)	監督
奇跡の丘 (1964)	監督, 脚本
ロゴパグ (1963)	監督
マンマ・ローマ (1962)	監督, 脚本
殺し (1962)	原案
アッカトーネ (1961)	監督, 脚本
汚れなき抱擁 (1960)	脚本
飾り窓の女 (1960)	脚本
残酷な夜 (1960)	脚本
狂った情事 (1960)	脚本

狂った夜 (1959)
カビリアの夜 (1957)
河の女 (1955)

脚本
脚本助手
脚本